

PROGRAM NOTE

1984

近藤譲：舞曲

笙二管と竽のための

Dance(s)

for 2 *Sho* and *U*

この作品は、「舞曲」と題されているが、実際に踊られることを意図して作られた音楽ではなく、言わば、抽象的な器楽曲である。曲全体は、三つの異なった小曲の連鎖で出来ており、曲尾に最初の曲が再び奏される形（即ち、ABCA という形）をとっている。ABC のそれぞれは、互いに、ほぼ完結した独立の小曲であって、個々に一曲として成り立ちえるほどのものだが、ここでは、そうした三つの小曲を繋ぎ合わせて全体として一つの曲に統合するために、C と最後の A の前に、B の素材に基づく短い序奏が付けられている。

三つの小曲は、それぞれに他の曲からはっきり異なった単一の音楽的性格を具えている。この作品を「舞曲」と題したのは、つまり、性格の異なる抽象的な小品の連鎖というこの曲の構成が、バロック後期の舞曲組曲に似ているからである。

この作品は、宮田まゆみの委嘱によって 1984 年に作曲され、同年、東京での彼女のリサイタルで初演された。

近藤譲

初演：1984 年 4 月 宮田まゆみ笙リサイタル（東京）

初演者：宮田まゆみ

委嘱：宮田まゆみ 多忠輝 多忠磨

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：12 分